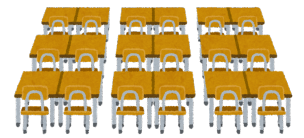


和地ひとみレポート No.422

CLOSED

東大和市の新型コロナウイルス関連の現状

学校での感染が増加・感染状況を鑑み市議会も協力



■年明けから

…緊急事態宣言が解除された昨年の秋から、新型コロナウイルスの新規感染者数は少ないまま抑制されてきましたが、沖縄県等を筆頭にオミクロン株による新規感染者数が増加。年明けからは、急拡大ともいえるほど、新規感染者数が増加しています。

…年明け1号となったこのレポートのNo.419でも取り上げたとおり、公表された東大和市内の新規感染者数は、昨年9月は148名、10月は10名、11月は0名、12月は4名と年末に向けて徐々に減少していったこととは対照的に、年明けの東大和市の新規感染者数は全国の傾向と同様に増加。1月のみでも下記のとおり感染者数が増大しています。

【1月の東大和市の新規感染者数:577名】

※日には公表日

1日 (土)	0名	17日 (月)	8名
2日 (日)	0名	18日 (火)	17名
3日 (月)	0名	19日 (水)	21名
4日 (火)	0名	20日 (木)	17名
5日 (水)	0名	21日 (金)	22名
6日 (木)	1名	22日 (土)	27名
7日 (金)	1名	23日 (日)	32名
8日 (土)	3名	24日 (月)	38名
9日 (日)	5名	25日 (火)	27名
10日 (月)	3名	26日 (水)	44名
11日 (火)	3名	27日 (木)	49名
12日 (水)	4名	28日 (金)	46名
13日 (木)	6名	29日 (土)	43名
14日 (金)	6名	30日 (日)	52名
15日 (土)	11名	31日 (月)	78名
16日 (日)	13名	合計	577名

…この東大和市がホームページで公表している新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、令和2年4月1日から東京都が公表している区市町村別患者数（前日までの累計）の数字です。新規感染者数を公表するようになった令和2年4月1日から昨年末＝令和3年1月31日までの間の東大和市の新規感染者数の累計は1207名。上記の表のとおり、今年1月の月間新規感染者数は577名ですので、昨年末までの累計数の約半分の47.8%の人数が1月だけで感染したことになります。

…ちなみに、今月＝2月の東大和市内の新規感染者数については、先週末の2月4日（金）までで258人。この人数は2月の4日間で、一気に増えた1月の月間感染者数の約半分の44.7%。感染拡大の速度が上がっていることが、これらの数字からうかがえます。

■学級閉鎖・学年閉鎖の学校も

…報道などでも、今回のオミクロン株は子ども達にも感染。全国の学校で学年閉鎖や学級閉鎖が実施されています。東大和市の児童、生徒の新規感染者や濃厚接触者の有無、また、そのための学年閉鎖や学級閉鎖の対応の有無については、市のホームページで日々、公表されています。

…これらの公表については、学校名、学年、男女の別などについても人権尊重、個人情報保護の観点などから公表されていませんが、年明けから2月4日までの人数や学校の対応についての状況は以下の通りです。

【1月から2月4日までの東大和市の学校関連の状況】

【小学校】

- ◆1月12日に初めて児童1名の陽性を公表。
その後、日々、児童の陽性者数が公表されている状況。直近の2月4日は13名の児童の陽性が公表され、1月から2月4日までの児童の陽性者合計は83名。
- ◆2月4日（金）時点での市内小学校の対応状況については、学級閉鎖実施校4校、うち1校は学年閉鎖も実施。

【中学校】

- ◆1月11日に初めて生徒1名の陽性を公表。
その後、日々、生徒の陽性者数が公表されている状況。直近の2月4日は4名の生徒の陽性が公表され、1月から2月4日までの生徒の陽性者合計は63名。
- ◆2月4日（金）時点での市内中学校の対応状況については、学級閉鎖実施校2校、うち1校は学年閉鎖も実施。

…一方、陽性となった児童・生徒がいても、上記のように学年閉鎖や学級閉鎖をしていない学校も一部あるようです。これらの対応の判断については、手いっばいの保健所からのアドバイスを受けることはできていないとのこと。各学校の学校医が国のガイドラインを参考に、状況などをみて判断しているとのこと。

…様々な行事が実施できず、本当に不憫に感じる子ども達の学校生活。そのような中でも授業だけは、昨年、全児童・生徒に導入されたタブレット端末を活用して、オンライン授業が実施できているとのことです。
(裏面に続く)

■保育園、学童保育は

…市内保育園でも児童や職員から陽性者が発生し、一部クラスを休園している保育園が複数あります。これらの対応の判断についても、学校と同様に保健所は頼れず、園医の判断で実施している状況とのことです。

…このような現状を踏まえ、東大和市においては2月1日に『新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う登園自粛要請』を公表しました。もちろん、この対応は、今まで以上に感染抑制の徹底を図ることが理由の一つですが、そのほかの理由の一つには「小・中学校や保育施設において学級閉鎖や休園が余儀なくされていることにより、保育士が出勤できず、保育施設における保育士の適正な配置が困難となる事例が発生しつつあること」も含まれます。

【登園自粛のご協力をお願いしたい例】

- ・仕事が休みの日などには保育施設をお休みする。
- ・在宅勤務の日は、通勤に要していた時間を除き、勤務時間に応じた利用とする。
- ・育児休業中は、週1～2日程度、登園を控える。

…今回の『新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う登園自粛要請』期間は現時点では2月1日から2月28日の1か月間となっていますが、今後、変更する可能性もあるとのこと。また、この期間中は1度も登園しない場合でも在籍資格の取消しもなく、一方で、どうしても勤務などの都合により保育施設を利用しなくてはならない方の登園を妨げるものでもありません。また、0歳から2歳児の保育料については、登園しなかった日数に応じて保育料を後日還付することとなっています。

…また、小学生が放課後利用する学童保育所と児童館（ランドセル来館事業を含む）について、東大和市では、現時点では新型コロナ感染症による利用停止等はない状況。なんとか感染予防対策の徹底で運営できているとのことです。

■市は今までで最大の警戒感

…オミクロン株は、デルタ株のように重症化することは少ないことなどといった報道により、肌感では、第5波よりも感染に対する恐れを感じていない人が多いように感じます。

…しかし、市では今回の第6波に対する警戒感は今までで最大の状況。前述のように学校や保育施設関連への影響があることや、感染者の数の多さ＝職員の感染者の数の多さなどにより、市の業務への影響が第5波より大きいことが要因のようです。実際、市では今後、濃厚接触者を含む職員の欠勤者数が増加した場合、一部の部や課の業務が停止してしまう可能性も考えている模様。

…とはいえ、実際に出来ることといえば、今まで通りの感染防止策の徹底や市主催のイベントの中止、市の施設利用の一定の制限くらいしかありません。

…そのほかには、東京都より要請のあった基本的な感染防止対策の徹底に関する広報の協力依頼により、東大和市では、行政防災無線（毎日16時に1回）と青色回転灯パトカーで「現在、新たな変異株による感染が拡大しています。引き続き、手洗い、消毒などの対策をお願いします」というメッセージを放送するほか、同じ内容を市の公式LINEにより配信するといった対応をするしかない状況です。

■2月末からの市議会定例会では

…このような状況の中、2月22日から令和4年第1回市議会定例会が開かれます。毎年、第1回の市議会定例会では、市長の施政方針演説が行われ、それに対する各会派の代表質問も実施されます。また、会期中には、来年度の予算を審査する予算特別委員会も開かれます。

…市議会定例会については、職員も様々対応をしなければなりませんが、現在は、ワクチン接種、給付金の手続きなど、通常業務以外の新型コロナウイルス感染症関連の業務もあり、そのうえ、自宅待機となる職員が多数いるという状況。市民のための行政運営を最優先に考えた場合、市議会としても議会運営の中で協力できる部分は協力することとなりました。

…具体的には、各議員、通常持ち時間100分の一般質問については、可能な限り各会派の代表1名が概ね50分程度に短縮することで、5日間予定していた一般質問の実施日を2日間に短縮。また、予算特別委員会の初日に半日ほどかけて実施していた予算説明については、読み上げではなく、同じ内容を事前に書面にて配布することで日程を1日短縮することとしました。

…初当選以来、私は監査委員であった時期を除き、一般質問を毎定例会実施してきましたが、現状を鑑み、第1回定例会での一般質問は辞退することに。しかし、市長の施政方針演説に対する代表質問や、予算特別委員会における予算案に対する質疑の中で、市政の内容や方向性等の確認を行い、また、予算に対する討論の中で、様々な提言を行うこととしました。

■3回目のワクチン接種券は

…やはり、このような状況を打破するには、3回目のワクチン接種を、接種可能な人が、より早く、より多く、接種を受けることが重要と感じます。しかし、国の大規模接種会場を利用されたい市民の方からは、接種券がないため予約できないという声も出ています。

…東大和市では市報の2月1日号に書かれていたように「2回目の接種を終了した日から7か月以上経過した65歳以上の方等を対象に順次送付」とのこと。国の方針に従いながら、従前の基準で進めていた送付準備もあると思いますが、東大和市も、まずは接種券を対象者に前倒しして送付するという対応について、検討し、実施の可能性を模索してほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102